

(その1) ①

「実施者」
 ・試験を実施した方の情報を記載してください。

「用途」
 ・(5)項イと記載してください。

「延べ面積」
 ・各階の合計面積を記載してください。

「階数」
 ・建物の各階数を記載してください。

「機種」
 ・煙感知器のことを「光電式スポット型」といい、熱感知器のことを「定温式スポット型」といいます。各機種名を記載してください。

「種別」
 ・各機種に種別があるため、仕様書を参照してください。

「個数」
 ・各機種ごとの設置個数を記載してください。

特定小規模施設用自動火災報知設備試験結果報告書

試験実施日 令和 7年 4月 20日

試験実施者

住所 千葉県館山市北条686番地1

氏名 安房 太郎

用途	(5)項イ									
延べ面積	130m ²	階数	地上 2階	地階	階					
受信機	蓄積式・二信号式・アナログ式・自動試験機能付き・遠隔試験機能付き・無線式・その他()									
	P・GP型	級	回線数 /	R・GR型	自火報点数 点・その他点数 点・予備点数 点					
	定格電圧	AC	V・DC	V						
	予備電源	NiCd・その他()		V	AH					
発信機	型	級	屋内型	個	屋外型					
	(無線式	型	級	屋内型	個	屋外型				
中継器	アナログ式・蓄積式・自動試験機能付き・遠隔試験機能付き・無線式・他()	目録	予備電源	有(V AH)・無	設置台数					
	アナログ式・蓄積式・自動試験機能付き・遠隔試験機能付き・無線式・他()	目録	予備電源	有(V AH)・無	設置台数					
	アナログ式・蓄積式・自動試験機能付き・遠隔試験機能付き・無線式・他()	目録	予備電源	有(V AH)・無	設置台数					
	アナログ式・蓄積式・自動試験機能付き・遠隔試験機能付き・無線式・他()	目録	予備電源	有(V AH)・無	設置台数					
	アナログ式・蓄積式・自動試験機能付き・遠隔試験機能付き・無線式・他()	目録	予備電源	有(V AH)・無	設置台数					
感知器	機	種	白	遠	種	別	個	数		
		光電式	スポット型(親機)			2種	1個			
		定温式	スポット型(子機)			1種	1個			
		式	型()			種	個			
		式	型()			種	個			
		式	型()			種	個			
		式	型()			種	個			
		式	型()			種	個			
		式	型()			種	個			
音響装置	種	別	種	類	電	圧	電	流	個	数
	主音響装置(内蔵されているものを除く。)				DC	V	mA		個	
	副音響装置(内蔵されているものを除く。)				DC	V	mA		個	
	地区音響装置				DC	V	mA		個	
					DC	V	mA		個	
	放送設備との連動				有		無			
鳴動方式				一斉鳴動		区分鳴動				

(その1) ②

「警戒区域」

・居室、2㎡以上の収納室に感知器を設置する必要があります。それぞれに設置されていれば○を記載してください。設置場所については、予防課と協議してください。

「感知器」

・各機種種の感知器が、正しい位置に設置されていれば○を記載してください。設置場所については、予防課と協議してください。

試 験 項 目		種 別 ・ 容 量 等 の 内 容	結 果	
外	警戒区域	警戒区域の設定	○	
	受信機	設置場所等	設置場所	
			周囲の状況・操作性	———
			設置状況	———
			構造・性能	———
			操作部	床面からの高さ m
		予備品等	———	
	中継器	設置場所等		
		構造・性能	———	
		予備品等	———	
電源 (電池を除く)	常用電源	AC V		
	非常電源の種別	非常電源専用受電設備・蓄電池設備		
試 験	感 知 器	差動式スポット型	———	
		定温式スポット型	○	
		補償式スポット型	———	
		熱複合式スポット型	———	
		熱アナログ式スポット型	———	
		煙感知器(アナログ式を除く。)	○	
		イオン化アナログ式スポット型	———	
		光電アナログ式スポット型	———	
		熱煙複合式スポット型	———	
		炎感知器	———	
発信機	設置場所等	———		
	構造・性能	———		
表示灯	設置場所等	———		
	構造	———		
地区音響装置	設置場所等	———		
	構造	———		

(その1) ③

「無線設備：通信試験」

・任意の感知器を発報させ、全ての感知器が鳴動すれば○を記載してください。

特定小規模施設用自動火災報知設備

③

試験項目		種別・容量等の内容	結果
配線	共通線試験	_____	
	送り配線試験	試験回線－1	_____
試験回線－2		_____	
試験回線－3		_____	
無線設備	通信試験	_____	○
機能	火災表示試験	火災表示状況	_____
		保持機能	_____
		2信号式の機能	_____
		蓄積式の機能	_____
	注意表示試験	注意表示状況	_____
	設定表示温度試験	設定表示温度等	_____
	回路導通試験	_____	
	同時作動試験	常用電源使用時	_____
		予備電源使用時	_____
	感知器作動試験	自動試験機能を有するもの	_____
遠隔試験機能を有するもの		_____	
予備電源試験	電源自動切替機能	_____	
	電圧	V	
機	非常電源試験	電源自動切替機能	_____
	付属装置試験	_____	
	相互作動試験	相互通話状況	_____
地区音響装置鳴動状況		_____	
中継器	設定表示温度試験	設定表示温度等	_____
	回路導通試験	_____	
	予備電源試験 (予備電源を有するもの)	電源自動切替機能	_____
		電圧	V
	感知器	作動試験	(その2)による
発信機	作動試験	_____	
地区音響装置	鳴動方式試験	_____	
	作動試験	(その2)による	
備考			

- 備考1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
 2 選択肢のある欄は、該当する事項を○印で囲むこと。
 3 非常電源（内蔵型以外のもの）及び配線についての試験結果報告書を添付すること。
 4 蓄積式中継器の機能試験は、感知器の作動試験及び発信機の作動により確認するものとする。
 5 複合式の感知器の試験は、それぞれの種別に応じて行うものとする。

(その2)

・感知器が設置されている室名称を記載し、感知器種別ごとの個数を記載してください。
 ・感知器を発報させ、鳴動すれば結果に○を記載します。

・各感知器の合計数を記載してください。

受信機の表示番号	設置場所 名称	差動式 スポット 型	補償式 スポット 型	定温式 スポット 型	煙感知器		多信号式		アナログ式		炎地区音響装置	結果	
					イオン化式 スポット 型	光電式 スポット 型	熱複合式 スポット 型	煙複合式 スポット 型	その他の多信号感知器	煙感知器			
										熱アナログ式 スポット 型			イオン化式 スポット 型
	1階ダイニング			1									○
	2階寝室					1							○
合計				1		1							—

備考1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
 2 受信機の表示番号ごとに個数を記入すること。(受信機を設置する場合に限る。)
 3 アナログ式及び自動試験機能付きのものは、階又は警戒区域ごとに設置されている個数を記入すること。